

消費期限と賞味期限は、 どっちがう？



お店で買った食品の袋や容器などに書かれている「消費期限」、
「賞味期限」という日付。どちらも食品をつくった人などが期限を示した
ものですが、意味はちょっとちがいます。そのちがいをきちんと知って、
健康を守り、また、食べ物をムダにしないように心がけましょう。

消費期限とは？

「安全に食べられます」という
期限を示しています。

おもに、お弁当やおかずなど、
いたみやすい食品につけられます。

たとえば、こんな食品に表示されます



賞味期限とは？

「品質が保たれ、おいしく、安全に食べられます」という期限を
示しています。

消費期限に比べ、いたみにくい
食品につけられます。つくられた
日から3ヵ月以内のものは年月日
で表示します。3ヵ月をこえるも

たとえば、こんな食品に表示されます



のについては、年月で表示することも認められています。日付を過ぎると、すぐに食べられなくなる、というわけではありませんが、早いうちに食べましょう。

食べ物を安全に、おいしく食べるためには、
保存方法を守って、期限のうちに食べよう！

期限表示も大事だけれど、見た目やにおい、
味などでチェックすることも大事ね！



消費期限も賞味期限も「袋や容器を開けないで」「書かれた保存方法を守って
保存している」場合の、安全やおいしさを約束したものです。一度開けたものは、
早く食べましょう！